

げんぼプロジェクト！ 「津山っ子の学びを高める3つの提案6つの取組」の具体的実践化について

## 【研究テーマと授業研究を関連づけるために】



＜ 授業研究の主な二つの視点＞

○ 「明確に目標が示されている」

○ 「目標達成のために授業者がどのような意図（仮説，構想）で授業を構成している」

学習指導案から「この目標達成のためには、この教材をこのように使って、このように学習活動を構成して支援すれば目標が達成できるのではないか」という具体的なねらいが明確に読み手に伝われば、授業研究は一層充実するであろう。

（岡山県総合教育センターだより「羅針盤154号」より）

## ＜ 指導案・授業研についての5つのチェック！＞

- (1) 指導案の様式や項目，表現方法などが校内で統一されていますか。
- (2) 研究テーマについて，子どもの具体的な姿や力が共有化されていますか。
- (3) 研究テーマにせまる手立て（実践仮説）が具体化され，共有化されていますか。
- (4) (2) (3) の評価規準（基準）や評価方法，評価道具が共有化されていますか。
- (5) 授業研と授業研を関連づける手立てが研究主任から示されていますか。

(3)に関して（例えば）研究テーマが『自ら考え、伝え合う授業づくり～言語活動の充実をふまえて～』の場合、

☆手立て（実践仮説）として、

＜A 自ら考える力＞ ①導入時，既習事項（問題）を位置づける。 ②課題に対する見通しや予想の交流の場を設定する。

＜B 伝え合う力＞ ③自分の考えと根拠（資料等）を区別する。 ④話し合いの中で，共通点と相違点について明確にする。